

2021年2月15日

長野県知事  
阿部守一様

日本共産党県議団 団長 毛利栄子

## 2月県議会にむけた申し入れ

1. 新型コロナウイルス感染の無症状者を含めた感染者を把握・保護して感染拡大を防ぐためには、PCR検査を抜本的に拡充する必要があります。全国の自治体で始まっている感染集中地域への大規模検査や、医療機関と高齢者施設などの職員、入院・入所者への一斉・定期的なPCR検査「社会的検査」が効果をあげています。全額公費で受けられるようにしてください。
2. 新型コロナウイルス感染症対応の医療体制を確保しながら通常医療の体制を維持するために、地域の医療体制全体に対する財政支援を行ってください。保健所では相談や入院・宿泊療養施設・自宅療養への振り分けや調整、追跡調査などの業務で職員の疲弊も深刻です。保健所体制の拡充、正規の保健師を増員してください。
3. ①新型コロナウイルスの感染抑止を実効あるものにするうえでも、営業時間短縮要請などは十分な補償とセットで行ってください。②新型コロナウイルス感染症から雇用と営業を守る支援策として、持続化給付金の第2弾の実施、雇用調整助成金の延長、生活困窮者には生活保護の受給促進、緊急小口資金や総合支援資金の貸付延長や返還の免除などを国に求めてください。③大変なストレスにさらされながら慰労金が支給されていない保育所や学童保育の職員、保険調剤薬局の従事者にも慰労金を支給してください。
4. 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を準備するにあたり、市町村の事業ではあっても県が助言・調整をしなければ進まない現実があります。国からの情報を速やかに市町村に伝え、保健所が自治体や医療機関と一体にスムーズに取り組めるようシステム作りを行ってください。
5. コロナ禍で企業の業績が落ち込み、大学生も両親の収入減やアルバイトの減少などで苦しい生活を余儀なくされています。県としてフードバンクも始めているので窮迫している県内の大学生の生活を支援するために、民間団体と協力し、食料や生活必需品などの物資を支給してください。農業者との連携なども有効な手段ですので積極的に取り組んでください。また、来年度も県立大学の学費を軽減してください。
6. 東京外かく環状道路（外環道）建設工事で、住宅地の大規模な陥没が発生しました。リニア中央新幹線のトンネル工事においても、工事の安全性などを再検証する必要があります。安全性が確認されない工事は見直すべきです。
7. 2019年の台風19号で被災した東御市の千曲川の護岸の復旧工事は国の直轄工事ですが、施工不良が1万3400か所以上見つかりました。工事は大林組が受注した工区の約484mの範囲内で、基礎工事が行われていなかったりコンクリート不足による空洞などのずさんな施工が確認されました。原因や今後の対応などの説明を国に求めてください。
8. 信州F・POWERプロジェクトは、再生可能エネルギーの普及に向けて木質バイオマス発電を行って循環型社会を目指し、森林の再生や林業・木材産業の振興を図る取組ですが、大規模化したことによって発電材料が不足し、予定通りに発電できない懸念があります。県民の税金が投入されている事業であることから、県として支援をしてください。

以上